



宮原良治司教認可 発行所 福岡司教区本部 福岡市中央区浄水通6-28 発行 人カトリック福岡司教区三 編集人 森山信三 TEL 092-522-4059 FAX 092-523-2152 振替口座 01760-6-20729 カトリック福岡司教区 定価 一部60円

7月の意向 教皇様の意向のために祈りましょう 【一般】選挙における正義 【宣教】都市文化における正義と 連帯と平和 【日本の教会】聖体の恵を悟る

福音を発信していこうと金祝司祭が励ましメッセージ 「司祭年」閉幕日にあたる6月11日(イエスの聖心の祭日)、カテドラル大名町教会には宮原良治司教をはじめ36人の司祭が集まり、司教の「今日は感謝のときとしたい」という言葉で「司祭年感謝ミサ」が捧げられた。信徒180余人も参列し、司祭団への感謝と健康を共に祈った。ミサの後、講堂で軽食を取りながら司祭も信徒も親しく声をかけ、励まし合う姿があった。

『司祭職を感謝するときに』



ミサに先立って講演した川添猛神父(帯山教会)は、金祝を迎え(長崎教区なので)外野席からだがと前置きして、最後の13年は、福岡教区の天草という司牧の場をいただいた司祭師とは何か、彼らが宣教師として勤め上げられたのはなぜかを考えさせられた。それはイエスへの愛?勿論であろう。同時に彼らは月に一度の司祭の交わりを大切にしていた。司祭がともに集い、食し、語り合うこと、これが挫折しない秘訣だ。

7月11日(日) 『船員の日』

日々の生活は支えられ、移動の便が確保されている。特別な船員の仕事は、危険な航海をこなし、家族の安全を祈る。私たちが生活する上で、船員はなくてはならない存在だ。彼らに感謝し、家族の安全を祈る。船員の日、彼らに感謝し、家族の安全を祈る。船員の日、彼らに感謝し、家族の安全を祈る。



会議だけに終わっていないかと問いかけた。さらに司祭は宣教師として、前へ前へ進む。川添神父の話に参列者の中には、涙ぐみながら話を聴いていた。司祭の言葉は、心に残る。司祭の言葉は、心に残る。司祭の言葉は、心に残る。

具体的な例えれば信徒が転勤等で信徒籍を移動するとき、より適切な対応をするべきである。すなわち転出先の教会を捜したり、照会をしてあげることによってスムーズに転出先の教会へ足を運ぶことになる。例えば教会を遠ざかっている信徒がいても、人間は、ある年になつたら宗教的に、自分の信仰を思い出す時がある。死を前にして戻ってきた人もあった。それではないか。いつでも

福岡教区内の司祭たちが研修

今年度の司祭研修会が、6月22日から24日まで「福音宣教」をテーマに阿蘇の白雲山荘にて53名の参加を得て開催された。まず、研修会冒頭講演したフランコ神父(真命山諸宗教交流センター)は、前教皇回勅中の「宗教間の話し合いは教会の福音宣教の一部です」という言葉を引用して、諸宗教対話の観点から宣教について語った。その基本姿勢として、相手の宗教は異

なるとせよ、信仰がある限り何らかの共通点があり、そこに対話の糸口があること、第2に共通点を確認したならば、例え、平和のために働くなど、何らかの活動をともにすることが出来る。そして第3に学問的なレベルで互いに学び合うなどの方法を挙げた。さらにそれぞれの宗教には「みことばの種」があり、相手の信仰を尊敬しながら、その種を見いだし、キリストの

時の話題

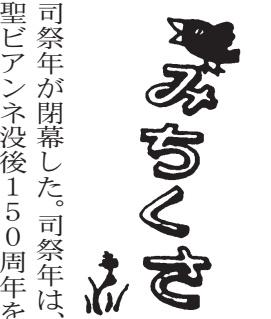
宗信夫

この10年、何か精神的に息苦しい。原因は社会状況と心の状態だと思ふ。交通の発達やパソコンの進歩などで仕事の能率が上がった。ところが自由な時間は増えず、よる多くの仕事量が増え、要求される。また経済がすべてに優先するようになった。もちろんお金がなければ何もできない。しかし庶民の安心のために、医療や社会福祉の分野は充実させるべきだと思ふ。現実にはなかなか



福音を伝えていく姿勢が求められると語った。2日目は1年間のサバティカルを終えた2人の司祭が、その体験に基づいて語った。まずベリオ神父(行橋教会)は、1年間の休暇の中で、現代世界と教会のあり方や、教会の歴史、神学等自らテーマを課して学んだことを分かち合った。そこから司祭として今確信していることとして、第1に權威に基づいた論法は現代人には通じない、現代人が求めているのは、教師ではなく証し人である、第2に教会が求めら

れている転換として、組織としての教会からイエスの共同体としての教会へ、また中央集権、上意下達方式の運営から兄弟姉妹の交わりに重点をおく教会への転換の必要性を語り、第2バチカン公会議の「神の民、交わりの教会観」の再認識を促した。次にブルーニ神父(黒崎教会)は、自分がどこに立っているか、自分自身の内面、その景色を見つめ直す意味で休暇を願った、病気などもあり計画した通りの休暇とはならなかったが、だからこそ良かったのかもしれないと前置きして、イタリアでの体験を語った。その中で参加した癒しのプログラムを通して、自分の中に心の傷が神の前で露わにされ、内面を深く掘り下げ、癒されていく過程を語った。一宣教師の霊的体験の披露として一同に感銘を与えた。午後にはそれぞれの司牧の現場から宣教について分かち合われた。夕食の懇親会では、各修道会、宣教会の出し物、手品、歌、またサンバまでとび出し、国際色豊かな宴となり、大いに盛り上がった。



司祭年が閉幕した。司祭年、聖ピアンネ没後150周年を記念し、全司祭の心の刷新を求めて始められた▲アルスの秘跡を1日十数時間も聴き、数え切れないほどの人々が罪のゆるしを得るために彼のもとを訪れたことで有名である。同時にその影響力の強さゆえに同僚の司祭たちからも非難や攻撃を受けることになった。司牧者として多くの魂を与っているという強い責任感と自覚また、それに反して自分の弱さ、貧しさ、罪、霊的な渇きなどの理由でアルスを去ろうという誘惑や試練も数回あったという。しかしその度毎に彼の魂は清められていくことになる▲聖人たちの生涯を見ていくとき、人間としての葛藤や迷いがなく、生涯真直ぐに主のもとへ一直線という人はまずいない。聖人は時には躓き、不安に駆られ、倒れながらも起き上がり続け、人々を導くことではないか▲お告げのとき、「マリアはこの言葉に戸惑い、いったいこの挨拶は何のことかと考え込んだ」この時以来マリアの周辺には、不可解なこと、戸惑いを覚えるような出来事が続くことになる。しかし、彼女は最後までイエスの跡をついていくことをやめなかった▲「ピアンネが自分には小教区の奉仕職を果たす力がないという思い、孤独のうちに自分の貧しい生涯を嘆くために逃れたいという望みのために苦しんだことはよく知られています。ピアンネを職務にとどまらせたのは、従順と人々の救いへの情熱のみだったのです。」(ベネディクト16世司祭年開催告示より) M

生きるため、死ぬため、死ぬとすれば主のため、それも主のため



鶴野泰年神父

私たちは人間の側からすれば生かすことは幸せであり、死ぬことは不幸に思えます。

「わたしたちは、生きる」とすれば主のために生き、死ぬとすれば主のために死ぬので、従って、生きるにしても、死ぬにしてもわたしたちは主のものです。

こうして、互いに相反する関係にあつた生と死は、今や生と死を超越された方によって合体させられたのです。

鳥栖教会でレジオ・マリエ



マリエでは最も大切な祈り、カテーナ・レジオニス参加者全員の唱和により捧げられた。

警戒すべきは永遠の死です。この世の死は、永遠の生命につなげていますが、永遠の死は永遠の生命とはつながっていないからです。

パスカルのメモワール

彼の死後、胴衣の裏に厚く縫い込まれていた羊皮紙と紙片一枚が出てきた。羊皮紙の文は、紙片の清書であった。

5月30日は好天に恵まれ、鳥栖教会聖堂で開かれた福岡クリアの行事には、50数人の参加者が集まった。

この黙想会開催を引き受けた鳥栖教会の活動会員と賛助会員一同は「このような盛大で神様のお恵みに満ちた黙想の祈りが捧げられ、レジオ・マリエの責任であるかのような重なりです。

みことばの広場!

先生、わたしたちが溺れ死んでもかまわない? (マルコ4、38-39)

り、舟が沈みそうになったときの様子が記されています。途中で引用すると、「...」

聖書の中に、イエスと弟子たちが舟に乗り対岸の町に向かっていたとき、突風が起きました。

ところが、イエスはいつものように、まくらをして眠っておられた。弟子たちはイエスを起こして「先生、わたくしたちがおぼれ死んでもかまわないのですか。」と言った。

わたしたちも、日常生活の中でこの弟子たちと同じような振る舞いをしていないのかも知れません。

ちよと息



時代おくれといわれるものはみんないい 坂牧春妙
ありがたうの言葉で封書重くなる 深堀正平

ザビエル旧聖堂再生工事着実に進む



1949年、ザビエル渡来(1549年)400年を記念して、鹿児島カトリックザビエル記念聖堂が鹿児島市照国町に建てられた。

恩寵の年1654年11月23日、月曜日教皇にして殉教者なる聖クレマン及び殉教者名簿中の他の人々の祭日、殉教者、聖クリソストマス及び他の人々の祭日の前夜、夜10時半より零時半頃まで。

石を混ぜ、それを洗って表面に出して石材に見せかける手法、なかなか見事で、人々は立ち止まって眺めている。

2011年4月の完成落成式に向けて式典に花を添えるコーラスグループ『ザビエル合唱団』が結成され、毎月第3土曜日に、西新教会で練習が行なわれている。

らるため、8年の間、更衣ごとに縫いこんで身につけていたと、姉のペリエは証言する。

の神。わが神、すなわち汝の神。(わが神、すなわち汝の神)

あり。イエス・キリスト。イエス・キリスト。われ彼より、離れおりぬ。われ彼を捨て、十字架につけぬ。願わくはわれ決して彼より離れざらんことを。彼は福音によって示された道によりてのみ保持せらる。全きこちよき自己放棄。イエス・キリスト及びわが指導者への全き服従。地上の試練の1日にして永遠の歓喜。(われは汝の御言葉を忘るることから) アーメン 大名町教会信徒 森山敬三

神の前で生と死を考える集い... カトリック福岡黙想の家

ミサ用ワイン VINO DE MISA

草苑 カトリックのご葬儀

武蔵丘教会で宣教味のバザー



福音宣教について、「福音宣教は教会の一つの活動である」とか、「どんな活動しても福音宣教になる」という考え方を持つ人は多いようです。本場にそうでしょうか。

福音宣教について、「福音宣教は教会の一つの活動である」とか、「どんな活動しても福音宣教になる」という考え方を持つ人は多いようです。本場にそうでしょうか。バチカンの公文書の「教会の宣教活動2項」に、「教会の性質は宣教者である」とはつきり書いてあります。福音宣教は単なる活動というより教会のDNAなのです。日本の教会は99%のキリスト信者ではない人達に囲まれている、極めて少数派のカトリック信者。

近頃の若いモンは

一青年による青年事情通信一 命・生きる・幸せ



「今の自分を表す漢字をひとつだけに絞れなく」と悩んでいるのは、今春大学院を

それを24時間、肌で感じていくでしょう。だから日本の信者にとって福音宣教は、絶対的なものではないでしょうか。でも、「何でも福音宣教になる」という見方は気になります。逆ではないでしょうか。福音宣教というはつきりした目的に基づいて、一環した諸活動を計画し、実行すること。つまり教会色、教会味のある活動をすることです。

先月、8年ぶりに武蔵ヶ丘教会でバザーが行われました。焼き鳥、かき氷、カレーライスに大いに宣教味を振りかけました。目的は教会を紹介すること、対象者は他の教会の信者より、職場の同僚、近所の人たち。方法は1人ひとりが口コミで誘い、チラシを渡す。場所は聖堂内。ミサ後、内陣を閉めて、普段の礼のために使う聖堂が福

福音宣教の場に変身しました。教会の年間行事の写真展示会、座って聖書を読む体験コーナー。見学した方々に「聖句入りのしおり」と一嬉しきとき、寂しいときなど心境によるテーマ別聖書箇所プリントをプレゼントしました。また、別室では15分間のスライド・ショーを放映、内容は「キリスト教の歴史と精神」、



「世界から熊本までのキリスト教の紹介」。バザーの参加者は200人以上、そのうちカトリック信者でない人、初めての人約60人でした。今回、このような教会色、宣教味のバザーを企画したことで、一環した活動として、福音宣教に一步貢献できたと思っています。

6月6日(日)、熊本の島崎教会では、キリストの聖体の主日のミサに続いて、恒例の聖体行列が行われた。今年も、天候に恵まれ、市内各地から、修道女、信徒約200人が参加した。行列は、教会の聖堂を出て、北側のマリアの宣教師フランシスコ修道院の聖堂までの約一キロの行程で行われた。この間、聖母マリアへの祈

りと、聖歌を交互に唱和し、一般公道を約300メートル程進み、修道院の裏門に着く。この敷地内には、待労院、老人ホーム等があり各施設の正面に到着すると、入所している高齢者の方々のための聖体祝福が行われた。この度に、子ども達の手で、バラなどの花びらが、あたり一面に撒かれた。その後、行列は修道院の聖堂に着き、最後に聖体賛美式が捧げられた。

6月13日(日)、福岡地区信徒協、召命・信仰育成部主催の初めての「教会学校関係者の集い」をカテドラル大名町教会で行った。福岡地区小教区の教会学校関係者に呼びかけ、15教会より教会学校関係者を中心に44人(内司祭3人、シスター4人)が参加した。また、事前に依頼していたアンケート(各教会の現状、取組み、問題点、召命の集いの参加状況報告他)も15教会から回収。

6月の梅雨の時期に当る、聖体の祝日に毎年行われてきているが、雨天のため中止された事は一度もない。この行列に毎年参加している信徒は、「毎年、聖体の祝日が近付きますと、緊張してきます。今年も天気に恵まれ、ほっとしています。公の場でご聖体を讃美する事は、私たちのとても大切な務めではないでしょうか。」と語っていた。

6月20日(日)、福岡地区信徒協の広報部会は5月23日に開催した千葉茂樹氏の講演会の反省と次へ向けた話し合いを行なった。次回は、一般市民に向けた宣教活動になるような企画を考へる方向で、例年12月にエキメニカルなかかわりで開催される「市民クリスマス」の手伝いや街頭募金の折に配るクリスマスカードの作成などが検討された。次回は、8月29日(日)が予定された。

BOOK 読書専科 ガブリエル・ハルトル編者 山本 文子 訳 ☆愛について100の言葉

福岡地区信徒協 召命・信仰育成部会が初の勉強会、広報部会は市民向け企画を検討

6月20日(日)、福岡地区信徒協の広報部会は5月23日に開催した千葉茂樹氏の講演会の反省と次へ向けた話し合いを行なった。

☆典礼奉仕への招き ミサ・集会祭儀での役割 オリエンズ宗教研究所 編

不動産全般/売買・賃貸・管理 存んでもお問い合わせください (株)ジャパン・スマイルか

FPC 福岡プライマリケア訪問看護ステーション 自宅で療養されている方、在宅で看取りたい方、精神障害の方など、病気について、介護方法について専門的指導や援助が必要な方はご相談ください。

総合建築業 一般住宅(新築・改築工事) 鉄骨工事 RC工事 建築の事なら何でもお気軽にご相談ください 森山工務店

本との出会い 人との出会い 神との出会い セント・ポール FUKUOKA キリスト教書籍・信信用具・ビデオ・DVD・CD

司祭召命の育成!

カトリック教会のカテキズム

日時：2010年7月25日(日) 15:00
 場所：カテドラル大名町教会
 講師：櫻井尚明神父(大名町教会主任)
 資料：カトリック教会のカテキズム

2010年福岡地区聖書講座

テーマ：聖書とわたし ～生活の中でみことばを活かす
 日時：2010年7月11日(日) 14:00～16:00
 場所：カテドラル大名町教会
 講師：瀬下幸弘氏(カトリック黒崎教会信徒)
 参加費：500円 旧新約聖書をご持参下さい。
 主催：福岡地区信徒使徒職協議会 聖書典部会

2010年北九州地区聖書講座

メインテーマ：いただきます～神のことばを食べる
 目的：生きるための力となる「神のことば」をいただきます。
 日時：7月25日(日) 14:00～16:30
 場所：カトリック小倉教会
 講師：L. ベリオン 神父(カトリック行橋教会)
 主催：北九州地区信徒協 聖書部会

熊本地区 第5回 神学講座開講のお知らせ

テーマ：「イエスを知り、イエスに生き、イエスを伝えよう」
 ≪希望、喜びをもたらすミサ≫
 【日時】7月18日(日) 13時半～16時半
 【内容・講師】キリストのあがないの恵 櫻井尚明 神父
 【会場】カトリック手取教会
 【受講料】各回1000円(通年5000円)
 *尚、参加希望者は事前に実行委員会にご連絡ください。
 【問合せ先】☎096-352-3030(手取教会 岸)
 【主催】熊本地区神学講座実行委員会

日本カトリック平和旬間 2010年平和を祈る集い

福岡地区平和を祈る集い
 テーマ：～私はしあわせ!それは平和!?!～
 日時：8月8日(日) 14:00～17:00
 場所：カテドラル大名町教会
 プログラム：
 第1部＝「平和授業」(14:00～15:30)
 ・子ども達の絵・作文・歌などの発表
 第2部＝「平和祈願ミサ」16:00から
 ・福岡在住の外国籍の方々と共に平和への祈り
 主催：福岡地区信徒使徒職協議会

第10回北九州平和の集い

テーマ：「いまわたしたちができること、築こう平和を足元から」
 日時：8月8日(日) 13:00～16:00
 場所：カトリック小倉教会
 プログラム：
 第1部＝平和祈願ミサ(各小教区で行う)
 第2部：平和の集い
 ・『核の無い世界を目指して』
 お話：Sr. 山本紀久代(援助修道会)
 ・交流タイム(平和を語り合う自由な時間)
 *子どもの広場あります。

臨床パストラルケア一日研修 予告

【日時】8月28日(土) 10時～17時
 【場所】サンパウロ福岡宣教センター
 【問合せ先】☎096・352・7181 加藤理人
 ☎092・861・4802 海江田紀子

福岡教区広報室アドレス
 E-mail: cdf-kouhou@nifty.com

2010年

案内板

会合と催し

7月のこよみ

福岡黙想の家ご案内 7月

◇6月29日(火)～8日(木) 聖母訪問会 黙想会
 ◇17日(土) 福岡テナクルム
 ◇18日(日)～21日(水) 産業医科大学 医学概論セミナー
 ◇29日(木)～31日(土) 新垣セミナー(合唱練習と講話)
 合唱指揮・指導: 新垣 壬敏
 講 話: 来住 英俊神父
 〒811-4155 福岡県宗像市名残1056
 ☎0940・32・3222 ㊟32・3385
 Email: fmokuso@mvi.biglobe.ne.jp

インターネットで検索 **福岡黙想の家** 検索

真命山諸宗教対話・霊性交流センター

※祈りの集い
 年間テーマ：教父に祈りを学ぶ
 ・日時：7月8日(木) 10時～14時半
 ・内容：聖アフラハト
 ・指導者：Sr. マリア デ・ジョルジ
 指 導：フランコ・ソットコロノ神父(真命山院長)
 ダニエレ サルツィ・サルトリ神父
 問合せ先：真命山諸宗教対話・霊性交流センター
 ☎0968・85・3100 ㊟0968・85・3186・玉名郡和水町蜻浦
 1391-7・E-mail shinmeizan@chive.ocn.ne.jp
 *個人またはグループでの黙想や研修会も歓迎。(要予約)
 *8月は祈りの集いはお休みです。

カテドラルでのゆるしの秘跡

日時：7月17日、8月7日、8月21日 午前10時～12時
 場所：カトリック大名町教会小聖堂
 *基本的に第1・第3土曜日。変更の場合もあります。

◆ **福岡**
 ■ 聖霊による刷新福岡祈りの集い(日時) 毎週月曜11時から12時30分(場所) 大名町教会1階(内容) 賛美と感謝の祈り・聖書の分かち合い(代表) Br床嶋(問合せ) ☎092・521・2503 蓮尾

■ 召命祈願ミサ(日時) 7月8日(木) 19時半(場所) 日本カトリック神学院福岡キャンパス聖堂

■ 召命を共に祈る会(日時) 7月15日(木) 14時30分(場所) 召命の家(指導) 浦川務神父(教区召命担当)

■ ザビエル合唱団(日時) 7月17日(土) 13時～16時(場所) カトリック西新教会(問合せ先) 事務局 ☎0940・333・5423 橋本

■ 虹の会(日時) 7月17日(土) 13時30分(場所) カトリック大名町教会3階(内容) 子どもを亡くした悲嘆の分かち合い(参加費) 600円(問合せ) ☎090・1162・639

■ 柴田須磨子

■ 在世フランシスコ会集い(日時) 7月18日(日) 14時から(場所) 高宮フランシスコ会修道院在会集会所(内容) アシジの聖フランシスコに就いて、福音に生きるため

◆ **北九州**
 ■ 北九州召命を共に祈る会(日時) 7月15日(木) 10時から(場所) カトリック水巻教会(内容) ミサ・ミーティング(指導) 井手公平神父(門司教会主任)(問合せ先) ☎093・963・2359 江口スズ子

■ 小倉祈りの集い(日時) 7月23日(金) 13時半から15時(場所) カトリック小倉教会信徒会館2階(指導) ガブリエル神父(御受難修道会)(内容) 「みことばを味わう」賛美と感謝の祈り(連絡先) ☎090・3985・5209 松田裕子

■ 第67回福岡ホスピスの会勉強会(日時) 7月18日(日) 14時から(場所) 大名町教会(内容) ホスピスからのたより(講師) 宮尾和代さん(木村外科病院 やすらぎ病棟師長)(参加費) 0

■ 第11回信徒の霊性と召命を考える集い(日時) 7月18日(日) 14時から16時半(場所) サンパウロ宣教センター(福岡市中央区赤坂)(内容) 信仰を生かす。祈りの聖時間(対象) 40歳位までの独身女性(企画) 鈴木美子(参加費) 300円(問合せ先) ☎092・715・3606 鈴木美子

■ 悦夫神父(問合せ先) ☎092・843・5831 岩崎

■ 第11回信徒の霊性と召命を考える集い(日時) 7月18日(日) 14時から16時半(場所) サンパウロ宣教センター(福岡市中央区赤坂)(内容) 信仰を生かす。祈りの聖時間(対象) 40歳位までの独身女性(企画) 鈴木美子(参加費) 300円(問合せ先) ☎092・715・3606 鈴木美子

◆ **熊本**
 ■ 美野島司牧センター あなたの勇気が路上の命を支えます! ●ホームレスの方に手作りのお昼ごはん! 毎週火曜日10時30分 ●ホームレス支援夜回り! 第一金曜日20時 ●路上からアパートに入居した方を訪問! 第三土曜日13時(問合せ先) ☎092・4331・1419 M・コース神父

◆ **佐賀**
 ■ 佐賀祈りの集い(日時) 8月7日(土) 10時半～12時(場所) 佐賀カトリック会館(内容) ミサと祈り(問合せ先) ☎0952・30・8347 吉武

◆ **熊本**
 ■ 熊本地区召命を共に祈る会(日時) 7月15日(木) 11時(場所) カトリック健康教会(内容) ロザリオと話し合い(問合せ先) 健康教会 ☎096・368・2825 青木悟神父

■ カトリック看護協会福岡支部の集まり(日時) 7月11日(日) 14時半(場所) イエズスの聖心病院(問合せ先) ☎096・352・7181 Sr 竹内

また、毎月ユーモアのある川柳を寄せてくださいました深堀正平さんが、6月23日帰天されました。故人の永遠の安息をお祈りください。

先日開催された、年に一度の司祭研修会。今年は雄大な阿蘇の麓で行われました。20代から80代の司祭が50人以上参加しました。毎年参加する司祭たちの頭も白くなったり、うすくなったり(失礼)する感は否めませんが、懇親会で次から次に登場する司祭たちの何とバラエティーに富んでいること! 歌手顔負けの歌、ダンサー顔負けの踊り、マジシャン顔負けの手品、本当に皆さん芸達者です。お国も10ヶ国を超えていました。それぞれの言葉で歌われる歌を聞いていると、やはりカトリックはすごい、と単純に思ってしまうました。それぞれの違いを超えてイエスを様を中心にして一つ。私たちの教会もそしてどんなコミュニティもそうありたいですね。

COSMOS
 スポーツ用品・OA・文具 **コスモス**
 〒830-1224 三井郡大刀洗町鶴木67-3
 TEL 0942-77-3199
 代表者 ベトロ 平田 清

社会医療法人 雪の聖母会
聖マリア病院
 総合周産期医療センター
 がん診療連携拠点病院
 地域医療支援病院
 救急救急センター
 *入院基本料(一般病棟7:1)
 〒830-8543 福岡県久留米市津福本町422
 TEL0942-35-3322(代表)
 FAX0942-34-3115
 http://www.st-mary-med.or.jp

痛みの相談室
いくま整骨院
 受付時間
 平日: 9:30～12:00
 14:30～20:00
 土曜: 9:30～15:00
 休診: 日曜・祝祭日
 福岡市西区姪浜駅南1-7-12-2F
 TEL 092-884-0134
 ペトロ 生熊 公吉

サンパウロ福岡宣教センター
教会学校
 知る、観る、遊ぶ、学ぶ
 【マンガ聖書など『特設コーナー』あり】
 1階 聖書・信心書・聖人伝・リリク関係・絵本・一般書等
 2階 家庭祭壇・十字架・お祈り・ご像・ご絵・CD・DVD等
 営業: 10:00～18:00 * 定休日: 日曜日・祭日 * 駐車場完備
 〒810-0042 福岡市中央区赤坂1-14-26
 tel. 092-721-2032 fax. 092-739-3930